

講義名	英語で学ぶグローバルコミュニケーション		
担当教員	中川 典子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限	授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

今日の社会では、英語を使用し、グローバルな視点で物事を考えることが益々、重要視されている。本コースはこのような現状に対応するため、異文化を理解し、異文化に対して寛容な態度をもち、世界に通用する基本的な英語力をもったグローバル人材を育成することを目的とする。授業では英語コミュニケーション力ほもとどより、異文化コミュニケーション能力の育成を目指す。

到達目標

本コースでは以下の能力を養うことを目標とする。

- 1) 課題解決型のスキットの演習や講師演習を通して、英語力だけでなく、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルや課題解決力を身につけることができる。
- 2) 英語母語話者だけでなく、ノンネイティブ(英語母語話者以外)の人々の生の英語に触れることで、実際のグローバルな英語環境に精通することができる。
- 3) クラスメイトとのペアワークにより、様々な場面における実践的な英語力を習得できる。
- 4) 基本文法やイディオムを習得できる。

提出課題

基本文法やイディオムに関する演習問題、テキストの内容に沿った会話文の作成、その他、授業で配布するテキストの内容に準拠して担当講師が作成したワークシートに取り組み等、さまざまな課題を提出する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック

小テスト(英文法やイディオム、テキストの各ユニットの復習クイズ)を実施し、理解が難しいと思われる設問について解説する。受講生が提出したワークシートの英語表現を添削指導し、助言する。

評価の基準

- 1) 小テスト(30%)
- 2) 課題(30%)
- 3) 定期試験(30%)
- 4) 出席(10%)

履修にあたっての注意・助言他

(1) コースの評価は、上記の評価基準の(1)(2)(3)(4)のすべてを完了した人に対して与えられます。1つでも参加しない項目がある場合、単位を取得できません。

(2) 交通機関の遅延等、正当な理由なく、15分以上遅刻した場合欠席となります。3回遅刻で1回欠席、また、5回以上欠席すると最終試験を受けられず、単位を取得できないので注意してください。

(3) 第1回目の授業までに必ず、指定教科書を購入してください。教科書不購入により生じる学習上の不都合はすべて自己責任です。教科書を購入せずに授業に出席しても、単位は取得できません。

*常に真摯な態度で受講してください。第1回目の授業で履修に関する重要事項を伝えますので、必ず出席してください。

備考

授業に関する連絡事項は「講義連絡」を通じて行いますので、必ず確認してください。第1回目の授業までに必ず、指定教科書を購入してください。教科書不購入により生じる学習上の不都合はすべて自己責任です。第1回目の授業で履修に関する重要事項を伝えますので、必ず出席してください。なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況により授業形態に変更が生じる場合があります。

教科書				
.Must-Have English Skills for Global Communication.	Shinichi Shibata,Rie Jindo, Lindsay Wells	Kinseido	¥1,900	978-4-7647-4059-4

プリント資料及び参考文献

授業中に適宜、配布する。

授業計画

授業回数 授業内容

1. コースガイダンス、Unit 1 May I help you? (困っている人に話しかける)
2. Unit 2 What do you do on the weekend? (初対面の人と会話を続ける)
3. Unit 3 That sounds interesting! (ポジティブ・ネガティブな意見を述べる)
4. Unit 4 I'm not feeling well. (体調を伝える)
5. Unit 5 You shouldn't step there (注意する)
6. Unit 6 Why don't we buy potatoes, too? (提案する)
7. Unit 7 Would it be convenient for you? (スケジュールを調整する)
8. Unit 8 I'll have to pass (依頼を断る)
9. Unit 9 I have an idea. (解決策を提案する/協働作業する)
10. Unit 10 Could you do me a favor? (お願いする)
11. Unit 11 I think you could explain this more (アドバイスを求める)
12. Unit 12 I don't get what you mean (発言を聞き返す)
13. Unit 13 I'm so sorry to hear that. (相手を励ます)
14. Unit 14 That's not what I meant. (誤解を解く/真意を伝える)
15. Unit 15 Let's keep in touch! (別れの挨拶/感謝を伝える)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習: 翌週の授業のための準備をし、課題を提出する。英文法やイディオムの課題やテキストのワークシートに取り組み、リーディングセクションの単語検査、次のクイズの準備(2時間)

復習: その日に学習した内容の復習(ワークシートの添削箇所の確認、テキスト内容のリスニング、会話文やリーディングセクションの音読を含む)、その週の課題に取り組み、(2時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは英語学習を通じて、円滑な異文化間コミュニケーションに必要な知識とスキルを修得する。これは「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったデジタルパーソン」を育成するという本学の全学共通科目のディプロマポリシーに沿ったものである。また、該科履修を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげる。これらの能力は同学部生に求められる各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講師やクラスメイトとのペアワークやグループワークを通じて、英語コミュニケーション力の向上を目指す。また、授業の最後に質疑応答の時間を設ける。

実務経験の有無及び活用

備考

授業に関する連絡事項は「講義連絡」を通じて行いますので、必ず確認してください。第1回目の授業までに必ず、指定教科書を購入してください。教科書不購入により生じる学習上の不都合はすべて自己責任です。第1回目の授業で履修に関する重要事項を伝えますので、必ず出席してください。なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況により授業形態に変更が生じる場合があります。